

平成27年 9月9日 NO・61

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp
 【ホームページで、カラー版が見られます】

安全・安心は、蛇の脳の安定から

さわやかな生徒の態度

野球部のある生徒が職員室に入ってきた。シャツが出ていた。すかさず、近くの先生方から、「シャツが出ているぞ。(直しなさい)」という声がかかる。そう指示された生徒はどうしただろうか。

「はい、すいませんでした。」と言って、その場で素早く身支度を整えたのだ。

雨続きで、はじめじめした気分の中、何とさわやかな光景を見せてくれたことか。職員室の中が、その生徒の態度で、秋のさわやかさに包まれた。

この生徒のさわやかな行為を見ていて、学校という狭い空間の中で、生徒たちに『安全・安心を保障するために、真面目さが認められる文化を創ることだ。』と、改めて感じた。

はじめが多い学校は、「まじめさがおろそかにされる」「当たり前が通用しない」という特徴がある。

る。

本校は、「挨拶がよくできる中学」「身だしなみがしっかりしている中学」という評判をいただいている。

生徒諸君の日々の心がけのたまものだ。

生徒一人一人の、常中魂を大切にしようとする努力によって、常澄中学校は、今「安全・安心」がほぼ実現している。

しかし、「挨拶の声が小さい」とか、「身だしなみが整わない」とかいう生徒が、一人でもでてくると、実は、全生徒の「安心・安全」はすぐ崩れる。

本人は、気づかないままに、脳が攻撃されるからなのだ。



浜松医科大学の永田勝太郎先生が、人間の脳について研究し、以下のようなことを述べている。

人間の脳は三つの部分からできているんですよ。
 一番内側にある脳幹は、呼吸したり、ものを食べたり、排泄をしたり、眠ったりという生命維持の基本となる命令を出す働きをしています。

これは、ヘビやトカゲといったは虫類にもある脳で、いわば「ヘビの脳」です。

その外にあるのが、旧皮質。ここは、喜んだり、悲しんだり、怒ったり、泣いたりするための脳です。感情を司る働きをしています。イヌやネコなどのほ乳類には備わっている、いわば「ネコの脳」です。

一番外側にあるのが、新皮質です。この脳は人間を特徴づけるものです。ものを覚えたり、何かを考えたり、言葉を話したりできるのは、この脳があるからです。いわば「ヒトの脳」です。

人間は、この三つの脳がうまく働いてくれないと、生きて生活していけません。

実は、「当たり前前」のことを、当たり前前「にやらぬ人」が、集団に「い」と、ヘビの脳が攻撃されて

まいます。
 ヘビの脳を攻撃されると、人間は生命力そのものが、減退してしまつたのです。
 (文責 飯島)

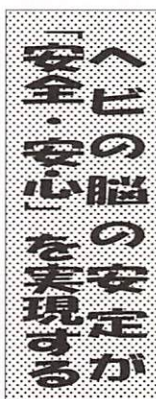
「友達が挨拶をしてくれない。」
 「友達に、シャツを出したまま生活している。」

こういう姿を見たとき、人は、ヘビの脳が攻撃され、生命力がそがれていく。

結果、「安全・安心」の環境が崩れていく、そういう構図になっていることを生徒諸君も、頭に入れて欲しい。

- 同じように、机を1cm離す。
- 授業中に手紙が回る。教室に、手紙が落ちてくる。
- 教室が乱れている。ゴミが落ちてくる。

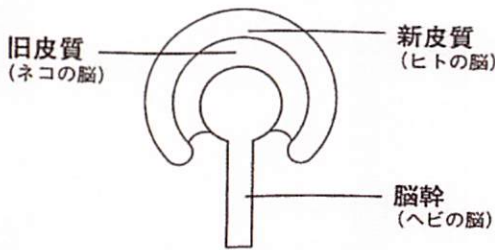
このようなことも、全てヘビの脳を攻撃している。



生徒一人一人のヘビの脳の安定が、学校の「安全・安心」を実現させるのは、このような理由からだ。

だから、冒頭の野球部生徒の態度は、すばらしいのだ。
 常中魂表れる、この生徒の態度を、皆で大いにたたえたい。

人間の脳の三層構造



(出所) 永田勝太郎『脳の革命』(PHP文庫)